

OPEN CAMPUS

2026年度オープンキャンパス・学園祭・進学相談会日程

6/13^{〔土〕}

オンライン進学相談会

7/19^{〔日〕}

第1回オープンキャンパス

8/23^{〔日〕}

第2回オープンキャンパス

10/17^{〔土〕}・18^{〔日〕}

三茶祭

12月

オンライン進学相談会

2027年3/14^{〔日〕}

進学相談会



オープンキャンパスの様子

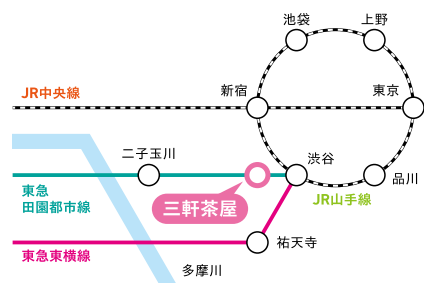


詳細はこちら▶

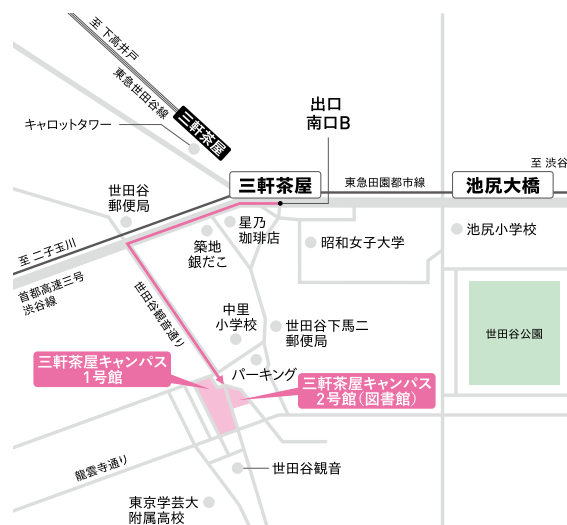
ACCESS アクセス

三軒茶屋キャンパスから新しい学びを発信

東急田園都市線の渋谷駅から急行で一駅、三軒茶屋駅から歩いて約10分。
都市型のキャンパスから、日本の未来に貢献する学びを発信していきます。



- ・東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋」駅下車徒歩約10分
- ・東急東横線「祐天寺」駅から、東急バスで三軒茶屋駅行（約10分）「日大前」下車徒歩約1分



CAMPUS 施設



さまざまな防災機能を備えた三軒茶屋キャンパスはスポーツ科学部と共用です。1号館は地下2階、地上8階建てで、教室、学生食堂、体育施設等を有します。2号館は4フロアにわたって図書館施設を有します。充実の設備で快適な学生生活を送ることができます。



1号館1階エントランス付近



1号館1階学生ホール



▲詳細はこちら



1号館テラス



2号館(図書館)

CONTACT 問い合わせ先

日本大学三軒茶屋キャンパス

〒154-8513 東京都世田谷区下馬 3-34-1
TEL:03-6453-1600 e-mail:adm.rmss@nihon-u.ac.jp
<https://www.crm.nihon-u.ac.jp/> ▶▶

危機管理学部
ホームページ



危機管理学部
X



危機管理学部
YouTube



三軒茶屋キャンパス
Instagram



@RMSS_N.SANCHA

危機管理学部

College of RISK MANAGEMENT 2027

時代を切り拓き、共に創る



平和な世界、 幸せな社会を 共に創りましょう



学部長・教授

福田 充

【危機管理学、
リスクコミュニケーション】

Message
学部長からのメッセージ

危機の時代といわれる現代、私たち人類は解決しなくてはならない数多くの難問に直面しています。

地球規模で広がる気候変動により自然災害は激甚化し、災害大国であるわが国において首都直下地震や南海トラフ巨大地震もいつ発生してもおかしくない状況です。新型コロナウイルスを経験した私たちは、次なる感染症パンデミックに備えねばなりません。

5年目に突入したロシア・ウクライナ戦争の長期化や中東における人道的危機レベルの紛争は、東アジアの安全保障環境にまで影響を及ぼし、わが国の防衛政策やインテリジェンス制度の見直しに日本政府は着手しています。

生成AIがもたらす新しい情報環境によって、私たちがこうしたAIなどイノベーションを使いこなせるスキルと、フェイクニュースや陰謀論にだまされないリテラシーが現代社会において不可欠な要素となりました。

このようなあらゆる危機に対応できるオールハザード・アプローチを基礎とした危機管理学が社会のいたるところで求められています。

こうした災害や戦争、パンデミックなどの危機において人々の命を守るだけでなく、人々の人権や自由、幸福な生活を守るためには、「人道主義(ヒューマニズム)」や「多様性(ダイバーシティ)」といった規範や倫理こそが不可欠であり、こうした価値や規範を守るためにこそ「ガバナンス」や「コンプライアンス」の確立が求められています。

この危機管理学のリベラル・アプローチを、一緒に学び、研究しましょう。この「新しい危機管理学」をともに学ぶ仲間をキャンパスで待っています。若い皆さんの感性に期待しています。

Profile

1969年、兵庫県生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。博士(政治学)。専門は危機管理学、リスクコミュニケーションなど。1995年の阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件を経験し、危機管理学の研究を始める。コロンビア大学戦争と平和研究所客員研究員や内閣官房等の危機管理・国民保護に関する委員を歴任。

学祖・山田顕義の理念を受け継ぐ危機管理学部

日本大学の前身・日本法律学校を創立した学祖・山田顕義は、1844(弘化元)年に現在の山口県萩市に生まれ、14歳で吉田松陰の松下村塾に入門。後に岩倉使節団の一員となり欧米諸国の先進的な文化を視察し、軍備拡充よりも法律整備や教育の普及が急務であることを確信。日本を法治国家とするべく近代法の制度設計に邁進し、司法大臣として、明治法典を編纂。我が国“近代法の父”

と呼ばれています。学祖は、欧米諸国の法律を学ぶことが主流だった当時の法学教育に疑問を抱き、1889(明治22)年に日本法律学校を創立。明治維新後の日本が近代化の過程で直面した安全保障や危機管理のあり方を法学的な観点から模索し、国際社会で通用する国家建設に尽力しました。危機管理学は新しい学問領域ですが、日本大学の起源とも関わる非常に重要な研究分野です。

学祖・山田顕義



新しい危機管理学の学び

POINT
01

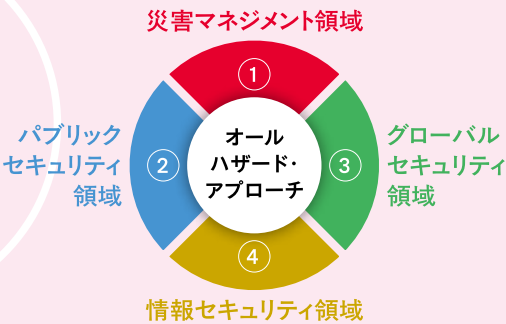
オールハザード・アプローチで あらゆる危機に対応

危機管理学は、日本や世界で発生する自然災害から大規模事故、犯罪、テロ、戦争紛争、サイバー攻撃、感染症パンデミックまで幅広くあらゆる危機を対象にした「オールハザード・アプローチ」で危機管理の手法を学ぶ新しい学問領域です。

①「災害マネジメント領域」、②「パブリックセキュリティ領域」、③「グローバルセキュリティ領域」、④「情報セキュリティ領域」の4つの領域を中心に、幅広く領域を超えて危機管理の理論と実践を学ぶことができます。



災害マネジメント領域、能登半島でのゼミ合宿



POINT
02

「リベラルな危機管理学」と 「アクティブな危機管理学」

「新しい危機管理学」のカリキュラムでは、社会の「安全・安心」を守る、人々の生命や生活を守るという従来の危機管理のイメージから一歩踏み込み、人々がより幸せに生きることができるように、人権・自由の価値を大切に、人道主義(ヒューマニズム)の理念に基づいた「リベラルな危機管理学」を学びます。

災害や大規模事故の被災地、犯罪・テロ対策の現場、国際交流のイベント、情報セキュリティを実践する企業など、実際のフィールドで危機管理のプロとのフィールドワークを通じて、「アクティブな危機管理学」を身につけます。

POINT
03

都市型キャンパスで学ぶ

最寄りの三軒茶屋駅は渋谷駅からわずか2駅。キャンパスは閑静な世田谷の住宅街に位置し、落ち着いた学びの環境です。三軒茶屋は下町風情と都会的な雰囲気が調和し、地域イベントも開催されるほか、洗練されたカフェ・雑貨店もあります。

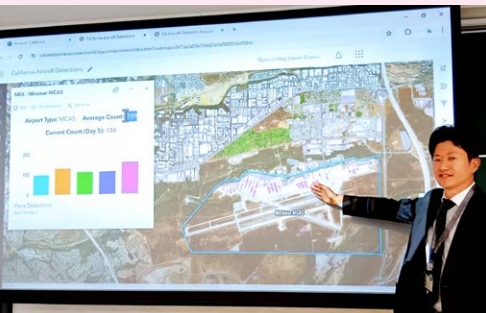


キャンパスからは都心を一望できる

POINT
04

GEOINT(ジオイント) 情報セキュリティ特殊研究4

現在、自然災害や安全保障などの分野で、衛星画像を分析したジオイント(GEOINT: 地理空間情報)が広く活用されています。本講義では衛星のリモートセンシングの仕組みや、衛星画像の解析を学びます。2024年度から学部課程に導入されて人気を集めており、2025年度からは大学院でも実施されています。



世界中の衛星画像データをもとに、最先端のジオイント解析を学ぶ

「危機管理学」学びの4ステップ



▲ 詳細はこちら

危機管理学部の学びのカリキュラムには、
高校までに培った「探究学習」の姿勢を、大学での「研究」に結びつけ、
「研究」を通じて社会とつながり、社会貢献できる人材となる成長の過程があります。

1

探究学習から 「自主創造」の研究へ



社会は答えのない課題、問題であふれています。そんな社会問題と向き合った高校までの「探究学習」からさらに一步踏み込み、大学での学びは「研究」が中心となります。答えのない問題と向き合い、解決策を見出すための「研究」。危機管理学部では、自分自身が取り組みたい社会問題を自分のテーマとして自由に探し出し、本格的に研究することができます。



その「研究」を通じて、自分の能力を高め、自分自身が選んだキャリアデザインに結びつけ、社会貢献を通じて自己実現します。

教育研究上の目的と3つのポリシー

危機管理学部は、ヒューマンズに根ざした思考様式を備え、社会的に柔軟かつ的確に対応できるリスクリテラシーの獲得を、教育と研究の目的としています。その具体的な方針は、「3つのポリシー」に明確に示されています。

ポリシーの詳細はこちらをご覧ください ▶



2

フィールドワークでの アクティブ・ラーニングへ



自分自身が向き合い、解決すべき課題、社会問題はなにか。自分自身の取り組む研究テーマを探すため、また研究すべき社会問題を発見するため、危機管理学部の学びでは危機管理の現場を経験するフィールドワークに参加します。

フィールドワークの現場は、地元地域から災害や事故の被災地、政府、自治体から企業、学校、病院まで社会全体に幅広く存在します。アクティブ・ラーニングによる体験を通じて、自分自身の研究テーマを見つけます。

そのフィールドワークの経験と自分自身の研究テーマをキャンパスに持ち帰り、教室での講義や演習で学んだ知識、スキルと結びつけ、自分自身の研究を進めます。これがPBL (Project Based Learning) をもとにした「アクティブな危機管理学」です。

1

ディプロマ・ポリシー
Diploma Policy

卒業の認定に
関する方針

2

カリキュラム・ポリシー
Curriculum Policy

教育課程の編成及び
実施に関する方針

3

アドミッション・ポリシー
Admission Policy

入学者の受入れに
関する方針

3

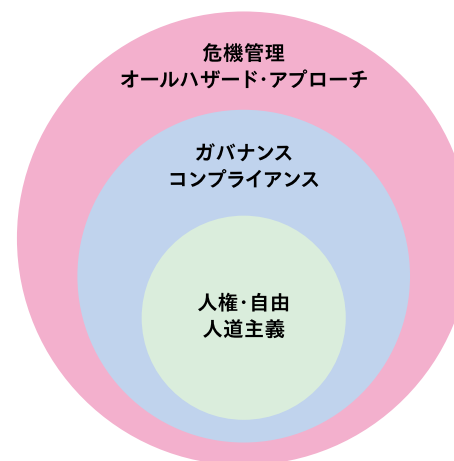
リベラルな危機管理学の 体系を学ぶ



私たちが目指す危機管理学は、あらゆる危機を研究対象とする「オールハザード・アプローチ」を採用しています。

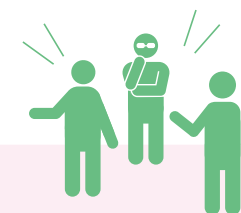
同時に危機管理を学ぶ上で必要な、核となる理念や思想として、「人権・自由」といった民主主義的な価値、人道主義(ヒューマンズ)や多様性(ダイバーシティ)といったリベラルでグローバルな価値を学び、それらを大切にする社会、人々が幸せに生きることができる社会の構築を目指します。

そのために社会で、組織で必要となるのが「ガバナンス」であり、「コンプライアンス」です。危機管理を实践する上で、危機管理学部の学びはこの「ガバナンス」と「コンプライアンス」を大切にします。これが、私たちが目指す「リベラルな危機管理学」です。



4

ゼミナールでの研究を 就職と社会貢献へ



取得できる学位
学士
(危機管理学)

危機管理学部は1年次から4年次までの演習系科目で学生一人ひとりと向き合い、研究活動や就職活動の指導、支援を行います。特に3年次、4年次のゼミナールでは、各自が研究テーマをもって、卒業研究を行い、卒業論文を完成させます。ゼミナールは学年ごとに十数名からなる少数メンバーで運営され、自分が研究したいテーマに近い研究室、教員をゼミナールの指導教員として選ぶことができます。

ゼミナールでは、早期化している就職活動に向けたキャリア指導も徹底しています。政府や官庁の公務員、都道府県自治体の公務員を目指す学生、一般企業や団体を目指す学生、大学院進学を目指す学生など、多様な学生が危機管理学の学びを活かしながら夢の実現を目指しています。



災害マネジメント領域

Disaster Management

災害を未然に防ぎ的確に対処する 災害マネジメント力向上を目指して

災害マネジメント領域では、地震や津波、台風などの自然災害、あるいは原発事故など広く災害と呼ばれる現象を扱います。特に焦点を当てるのは、災害と関連する法制度、災害に取り組む政府や地方自治体、企業などの各種主体、地域コミュニティ、個々人の心理や情報といった社会的諸要素です。この領域では、法学や政治学、社会学、工学、心理学などの学際的な観点から、災害と向き合う私たちの社会のあり方、向き合い方に対する理解を深め、社会において具体的対策を考えるための力を養います。



近隣の小学校で学生が防災の出張授業を行う



震災のあった能登半島でのゼミナール合宿の様子

Interview

在学生インタビュー

4年生 山部 剣太さん



命に関わる情報の重みを知る

誰もが主体的に備える社会を目指して

災害情報の伝達に関心があり入学。「自然災害論」などの授業を通じて命に関わる災害情報の責任の重さを実感しています。ゼミの実習では、高層マンションの屋上や高層階へ実際に足を運び、避難の難しさや備えの課題を肌で感じました。将来は、誰もが主体的に備え、行動できるような「災害情報」のあり方を社会に提案したいです。

安全で安心な社会、未来を創る

守られる人から守る人へ

近年、水害は激甚化・頻発化し、南海トラフ地震などの大規模地震の発生も切迫しています。「地域が大きな水害や地震に襲われたらどうなるか?」、普段見慣れている景色も、災害という視点で見ると違う姿が見えてきます。知ることによって視点が変わる。学ぶことで未来を守れる。「学ぶことの大切さ」を実感してもらいたいです。



教員インタビュー 教授 秦 康範

【自然災害論、地域防災、防災教育】

パブリックセキュリティ領域

Public Security

犯罪や事故による被害が最小化された より安全で安心な社会を構築する

パブリックセキュリティ領域では、虐待・DV、ストーカー、保育・学校事故などの身近な事件・事故から暴力団や匿名・流動型犯罪グループによる組織犯罪、さらにはテロに至るまで、個人や社会の安全に関連するさまざまな課題を扱います。これらへの対応は、公安系職種や一般行政職のみならず、現代社会に暮らす誰もが避けて通ることのできない課題です。



学生がデータをもとに危機管理の訓練を設計



「自治体職員」として図上訓練を疑似体験

Interview

在学生インタビュー

4年生 大橋 玲奈さん



何か起きてからでは遅い

そもそも起こさない「事前対策」を

私が現在の領域に興味を持ったきっかけとしては、現在の社会情勢があります。犯罪やテロリズムというものは、事前に防ぐことができます。この世の中で安全に生きるためにどのような政策がなされているのかということをも具体的に学びたい、その思いから今は主にインフラのセキュリティについて学んでいます。

減多に起こらない危機にこそ

具体的に備えていく

私の研究室では、国民保護(紛争下での住民保護)や自衛隊の災害派遣など防災・危機管理と安全保障をまたぐ領域を中心に研究しています。紛争や巨大災害など、減多に起こらない反面、一度発生すれば多くの人の命運を左右してしまう事象を扱っているからこそ、学生の皆さんには、演習中心の授業を通じ、人々の生活を大切にする視点を忘れずに学んでほしいと考えています。



教員インタビュー 准教授 中林 啓修

【政治学、国民保護、軍事組織の災害対応】

【主な科目】

- 災害対策論
- 事業継続論(BCP・BCM)
- 災害情報論
- 自然災害論
- 地域防災論
- 災害マネジメント特殊研究1【災害と法】
- 災害マネジメント特殊研究2【ヒューマンエラー】
- 災害マネジメント特殊研究3【大規模事故論】
- 災害マネジメント特殊研究4【パンデミック】

※特殊研究の[]内は年度によって変更となる場合があります。



▲授業科目をもっと見る

【目指せる職業】

- 【公務員】
 - ・防災課
 - ・危機管理課
 - ・総務部危機管理担当
 - ・警察官
 - ・消防士
 - ・自衛隊
 - ・国土交通省
- 【企業】
 - ・建設会社
 - ・製造業
 - ・物流業界
 - ・鉄道・航空会社
 - ・エネルギー関連企業
 - ・IT・通信業界
 - ・金融・保険業界
 - ・BCPコンサルタント会社

等

【主な科目】

- 社会安全政策1・2
- 国民保護
- テロリズム論
- こどもインクルージョン(行政マネジメント)
- パブリックセキュリティ特殊研究1【経済刑法】
- パブリックセキュリティ特殊研究2【犯罪心理学】
- パブリックセキュリティ特殊研究3【インフラセキュリティ】
- パブリックセキュリティ特殊研究4【観光リスクマネジメント】

※特殊研究の[]内は年度によって変更となる場合があります。



▲授業科目をもっと見る

【目指せる職業】

- 【公務員】
 - ・警察官、警察行政職
 - ・消防士、消防行政職
 - ・防衛省、自衛隊
 - ・内閣府
 - ・総務省(消防・通信)
 - ・国土交通省
 - ・地方自治体(危機管理課・防災安全課・交通安全担当)
- 【企業】
 - ・電力・ガスなどのインフラ関連企業
 - ・鉄道・航空会社
 - ・通信会社
 - ・警備会社
 - ・防災関連企業
 - ・BCPコンサルタント会社
 - ・サイバーセキュリティ企業
 - ・システムインテグレーター

等

グローバルセキュリティ領域

Global Security

変動する国際情勢を注視しながら 日本と世界の平和・安定を実現する

グローバルセキュリティ領域では、国際秩序を維持する安全保障、国際法などの法制度、国際テロリズムなどの国境を越える脅威に焦点を当てます。また戦争・紛争や環境破壊、難民、人権侵害、貧困、感染症など対象範囲が広い、世界的な視野を持って多様な危機管理に携わるための素地を養うことができます。常に日々変動する国際情勢の動向を注視しつつ、紛争や領土問題など今そこにある危機の事例などを通して、今後の日本と世界の平和・安定に向けた具体的な取り組みを考えていきます。



留学生も参加して学内で開かれた
グローバルカフェ



日本大学
ニューカッスルキャンパス
(オーストラリア)

Interview

在 学生インタビュー

3年生 井上 晴菜さん



国際協力の現場に 繋がる危機分析

国際協力分野で働きたい思いから、世界の危機を制度面から学ぶことができるグローバルセキュリティ領域を選びました。国際法や安全保障論を通じて、教育や保健支援などの仕組みを理解できるようになりました。現在は国際協力の政策や制度を中心に研究を進めています。将来は開発コンサルを経て、JICAやWHOで国際協力の最前線に立ちたいです。

三軒茶屋で世界の紛争や 日本の安全保障問題について考える

私の研究分野は国際政治学です。具体的には外交・安全保障におけるインテリジェンス(情報)の役割について研究をしています。本学部では「インテリジェンス」や「安全保障論」といった他ではなかなか学べない内容について教育しています。キャンパスが都内にあることや、公務員を志望する学生が多いことから、学生と霞が関の官庁を訪問し、見聞を広めることにも注力しています。



教 員インタビュー 教授 小谷 賢 【国際政治学、安全保障、インテリジェンス】

【主な科目】

- 国際政治学 ●国際安全保障 ●国家安全保障
 - 防衛政策 ●平和構築論
 - グローバルセキュリティ特殊研究1【外交史】
 - グローバルセキュリティ特殊研究2【防衛法制】
 - グローバルセキュリティ特殊研究3【国際人権・人道法】
 - グローバルセキュリティ特殊研究4【国際経済ガバナンス】
- ※特殊研究の【】内は年度によって変更となる場合があります。



▲ 授業科目を
もっと見る

【目指せる職業】

- 【公務員】
 - 国家公務員(総合職・一般職)
 - 外務省(外交・安全保障政策)
 - 防衛省(政策・国際防衛協力)
 - 内閣官房・内閣府(安全保障関連部局)
 - 国際交流・危機管理部門(都道府県・地方自治体)
 - 【独立行政法人】
 - JICA、JETRO など(国際協力・国際情勢対応)
 - 【企業】
 - 総合商社
 - エネルギー・資源関連企業
 - インフラ(電力・通信・鉄道・建設)関連企業
 - 物流・海運・航空業界
 - 防災関連企業
 - 調査・リサーチ会社
- 等

情報セキュリティ領域

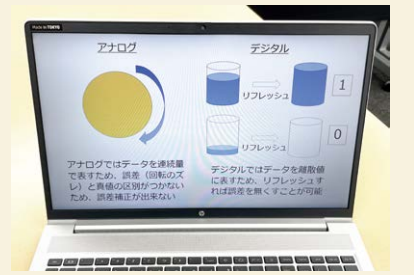
Information Security

進化する情報技術との共存と 情報システム活用の最適化を進める

情報セキュリティ領域では、情報システムを巡るさまざまなリスクを研究の対象とします。近年の情報技術の進化は目覚ましいものがあり、20世紀中盤以降のSFの世界が現実に近い近づいてきます。サイバー空間と現実の世界の境界は曖昧になり、人工知能は生活レベルの向上だけでなく、戦争兵器としての利用やプライバシーの侵害、企業間格差の拡大といった問題も生み出しています。私たちは基礎となる情報技術や適用事例を学び、派生する問題を取り上げ、情報システムのあり方を研究します。

C言語プログラミング実習の
個別指導の様子

図表を用いてコンピューターに
関する数学を学ぶ



Interview

在 学生インタビュー

3年生 来住 佑馬さん



専門知識を学び、 安全な情報社会を築く

デジタル化が進む中で、サイバー攻撃が企業や重要インフラに甚大な被害を及ぼしています。私は情報セキュリティリスクへの理解を深めるため、この領域を選択しました。授業では、他領域との関わりが深い事例も扱い、幅広い知識を修得できます。将来は、ここで学んだ専門知識をもとに、社会のセキュリティ課題解決に貢献したいです。

メディアと社会、英語を学び、 政治、経済、社会の最先端へ

社会学とメディア研究を専門にしています。危機管理の4領域のみならず、政治、経済、社会の諸領域とメディアは密接に関係しています。メディアを理解するということは現代社会を知ることであると言っても過言ではありません。あとは学部時代、特に1、2年次のうちに何はともあれTOEICを受験して、点数を上げていきましょう。



教 員インタビュー 教授 西田 亮介 【社会学、メディア研究、公共政策】

【主な科目】

- 情報法 ●情報管理論 ●メディアコミュニケーション
 - 情報技術 ●サイバーセキュリティ
 - 情報セキュリティ特殊研究1【情報技術と社会】
 - 情報セキュリティ特殊研究2【知財セキュリティ】
 - 情報セキュリティ特殊研究3【デジタルリスク】
 - 情報セキュリティ特殊研究4【GEOINT】
- ※特殊研究の【】内は年度によって変更となる場合があります。



▲ 授業科目を
もっと見る

【目指せる職業】

- 【公務員】
 - 国家公務員
 - 経済産業省
 - 総務省
 - 地方公務員
 - 地方自治体(情報管理部門、ITシステム課)
 - 【企業】
 - システムインテグレーター
 - ITサービス・ソフトウェア
 - サイバーセキュリティ関連企業
 - 通信事業者
 - ネットワークインフラ関連企業
 - 銀行・証券・保険
 - 製造業
- 等

1年次から学ぶ基礎科目

基盤科目 *Foundation Subjects*

ガバナンスやコンプライアンスを学ぶ

危機管理学では、自然災害、事故、テロなどのハザード系リスクへの対応に加え、民主主義的な価値を守るリベラル・アプローチも求められます。基盤科目では、リスクマネジメントに必要な不可欠なガバナンスやコンプライアンス、社会制度について学びます。

【主な科目】

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| ●レジリエンス | ●リーガルシステム | ●リスクマネジメント |
| ●市民法システムⅠ・Ⅱ | ●政治システム | ●行政法システム |
| ●国家ガバナンスⅠ・Ⅱ | ●企業法システム | ●国際法システム 他 |

基幹科目 *Core Subjects*

危機管理の機能と守るべき価値を学ぶ

危機管理は人々が互いに尊重し、幸福を実感できる社会をデザインするためにあります。基幹科目ではそうした守られるべき価値規範のあり方や、それを守るための危機管理の機能(インテリジェンス、セキュリティ、ロジスティクス、リスクコミュニケーション)について学びます。

【主な科目】

- | | | |
|---------------|---------------------|-----------|
| ●インテリジェンス | ●ロジスティクス | ●セキュリティ |
| ●リスクコミュニケーション | ●ヒューマニズム | ●イノベーション論 |
| ●エコロジー | ●社会心理学(ソーシャルサイコロジー) | |
| ●グローバル文化論 | ●ダイバーシティ論 | |
| ●グローバルガバナンス | ●プライバシー論 | 他 |

リベラルアーツ科目 *Liberal Arts Subjects*

探究心を醸成し実践的思考を身につける

実学である危機管理学は、自ら探究心を持って広い視野と深い教養を身につけることが重要です。探究科目や語学科目など危機管理研究の基礎であり、原動力となるような探究姿勢を醸成するための科目を配置しています。

【主な科目】

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| ●ライティング・スキルズ | ●リサーチ・スキルズ1~2 |
| ●データサイエンスの世界 | |
| ●人文科学探究1~9(哲学・思想分野)(文学・言語分野)等 | |
| ●社会科学探究1~9(社会・空間分野)(法律・政治分野)等 | |
| ●自然科学探究1~9(生命・地球分野)(環境・共生分野)等 | |
| ●学際探究1~6 | ●英語 ●韓国語 ●中国語 他 |

資格(防災士)

防災士とは 日本防災士機構が認定する民間資格です。本学部では、指定された講習等を完了することにより「防災士資格取得試験」の受験資格を得ることができます。学生の中には在学中に試験を受験し、資格を取得している学生もいます。

学 生インタビュー



災害マネジメント領域 2025年度卒
日本赤十字社 新田 千尋さん

資格を通じて「守られる側から守る側」へ意識が変化しました。心肺蘇生法や応急手当、避難誘導などの知識は、日々の生活の安全にも大きく役立っています。現在は、大学時代に取得した防災士を活かし、個人的な活動として、人々の安全を支える活動に取り組んでいます。

詳細はこちら▶



教 員インタビュー

教授 永沼 淳子
【民法】

自分の意識が
より良い社会をつくる

近年、共同親権や同性婚など、夫婦・家族に関する規定に注目が集まっています。共同親権は2026年4月から改正法が施行され、同性婚訴訟は高裁で5つの違憲判決と1つの合憲判決が出ています。注目される背景には、国民意識の変化があります。多様な価値観を認め合い、より公平で公正な社会を望む、若者の意識が社会を変えていきます。社会の一員として常に考え続けることを忘れないでください。

教 員インタビュー

准教授 山添 謙
【気候学、自然地理学、
環境教育】

人間社会と
自然環境との関係を考える

私たちの社会は自然との関係の中で成立しています。極端化した自然現象は災害をもたらし、さまざまな地球環境問題は社会にその解決を迫ります。一方、長期にわたる自然の循環の中で私たちに有用な資源が蓄えられました。人間社会の安心・安全を考えると、社会を取り巻く自然環境の仕組みや関係を知り、自然にどれほどの価値を見いだすのか、私たち一人ひとりが考えなければなりません。

教 員インタビュー

助教 岡 麟太郎
【英語学、意味論、
語用論】

ことばを学び、
思考を豊かに

「かたち(表現形式)が異なれば、意味も異なる」という視点を大事にし、英語学を専門としています。ことばを学ぶことは、その背景にある文化や価値観に触れることでもあります。たとえば、「いただきます」という一言に日本独自の想いが込められているように、英語にもその国ならではの考え方が色濃く映る表現が数多くあります。ことばを通じて多様なものの見方に触れることで、思考がより豊かになることを実感してもらいたいと考えています。

留学・国際交流、学生支援

留学・国際交流

日本大学のスケールメリットを活かした留学プログラム

留学は異文化を理解し、多様な価値観を受け入れ、高いコミュニケーション能力を身につける絶好の機会です。本学には、中長期間の留学プログラムのほか、夏季・春季休業中に開催する短期海外研修プログラムなど多種多様な留学の機会があります。

交換留学・派遣留学 約1年間

日本大学では、大学間協定に基づき海外の大学との交換留学・派遣留学を実施しています。

留学先：英語圏、韓国、中国語圏、ドイツ、フランス



▲ 詳細はこちら

短期海外研修 約3週間

日本大学では、イギリスおよびオーストラリアで短期海外研修を実施しています。

研修先：ケンブリッジ大学(イギリス)、
ニューカッスル大学(オーストラリア・協定校)



▲ 詳細はこちら

学生生活サポート

01 修学支援制度・奨学金

日本大学は、「高等教育の修学支援新制度」の対象校に認定されており、その対象となった受験生は入学後に授業料が減免されます。また、奨学金も家計困窮者の支援を目的とした日本大学創立130周年記念奨学金(第2種)(30万円給付)など、学内外を含め充実しています。



▲ 詳細はこちら

02 保健室

保健室には看護師が常駐し、ケガの応急処置や健康相談、大学近隣の医療機関の案内や、日本大学病院への紹介状作成などを行っています。



03 学生支援室

学生支援室では、教職員・保健室と連携し、臨床心理士の資格を持つカウンセラーが、修学や学生生活に不安を抱えている学生に対して、カウンセリング及び支援をしています。

04 学生寮・提携学生寮

日本大学では、複数の大学直営寮(男子寮・女子寮)を完備し、経済面・安全面の両面から、一人暮らしをする学生を支援しています。入寮時の初期費用が少なく、基本的な家具・家電などの生活必需品が揃い、インターネット接続も無料です。提携学生寮では、寮長・寮母が常駐し、朝・夕の食事が付きます。全室個室で家具類は備え付け、共用設備も充実しており、快適な学生生活が送れます。



▲ 詳細はこちら

05 ダイバーシティ

三軒茶屋キャンパスでは、多様性に配慮するさまざまな取り組みを行っています。キャンパス自体が東京都世田谷区バリアフリー条例の適合基準を満たしており、誰もが使いやすい施設を実現しています。また、さまざまな国籍を有する学生同士の交流及び留学の案内等を目的とした国際交流センターを設置するなど、ダイバーシティ推進にも力を入れています。

第9回 三茶祭 レポート!

「三茶祭」は、日本大学三軒茶屋キャンパスで毎年秋に行われている学園祭です。第9回三茶祭ではキッチンカーの出店や模擬店の出店数が大幅に増え、さらにはキャッシュレス決済を導入。地域のイベントと同時開催し、過去最多の来場者数を記録しました。第10回三茶祭も、危機管理学部 × スポーツ科学部の特色を活かした企画を展開し、レベルアップして2026年10月17日(土)・18日(日)に開催予定です。皆さまのご来場を心よりお待ちしております!

※三茶祭実行委員がデザインを作成しました。

【屋外エリア】
キッチンカー出店の様子

【屋内・模擬店エリア】
過去最大の計22団体が出店しました

←各種SNSはこちらから!

キャリアサポート

学生の特性を活かしたキャリア支援
ES作成や面接練習などを手厚くサポート

キャリア支援プログラム

行政キャリア、企業キャリアそれぞれの志望に応じたプログラムが構成されています。共通領域のプログラムのキャリアデザイン
の局面では、自己分析と業界・企業研究を行い、就職活動の実践力強化の局面では、ES(エントリーシート)作成指導、面接対策、適性試験対策、キャリア
カウンセラー相談のプログラムが提供されます。これらの講座は、多様化する選考
採用のあり方や学生の就職活動を始める時期の違いを考慮して設けられています。
共通領域のプログラムでは全ての就活生に求められる技能を養成し、行政・企業
キャリア向けプログラムでは、志望先に応じた深掘りを行います。



▲詳細はこちら

01 公務員講座

公務員を志望する学生に向けて、1年次から学べる公務員対策講座を独自に開講しています。公務員試験相談コーナーが開設され、公務員試験に関するあらゆる質問を専任の相談員や教員に相談したり、面接の指導を受けたりすることができます。

03 インターンシップ

「キャリア・デザインII」という正課科目を配置しています。これらの科目では、危機管理と関連のある企業や自治体についての業界研究・企業研究とインターンシップを通じて、危機管理に関わる仕事について知り、理解を深めていくことができます。

02 SANCHI Job Cafe

就職難関企業突破を目指す1〜3年生向けに SANCHI Job Cafe を開講しています。就職活動に求められる実践的な社会人基礎力の強化を目指した課外授業の形式でさまざまな種類のプログラム枠で構成されています。

04 キャリアカウンセリング

就職・インターンシップ公務員等の進路を検討する際にプロのカウンセラーに相談することで、多くの選択肢の中から最良の選択を導くための手助けが得られます。履歴書やESの添削、面接の指導などあらゆるサポートを受けることができます。

キャリアカウンセラーによる相談

	共通	行政キャリア	企業キャリア
1年次	キャリアデザイン	公務員・民間対策講座	SANCHI Job Cafe
2年次	就職活動実践力強化	公務員対策講座 行政コース 警察・消防コース	
3年次			
4年次	選考対応	公務員面接対策	企業セミナー

学生インタビュー

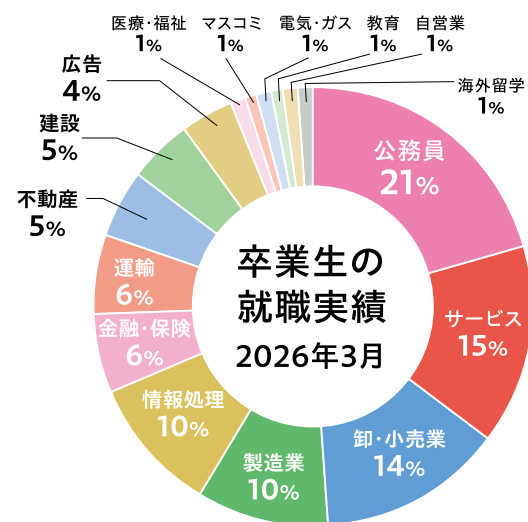
安心を広げる
危機管理の担い手に

災害マネジメント領域
4年生 磯 佑歌さん

1、2年生で危機管理の基礎を築くことができました。その学びを強みに、事業継続や災害に強い企業づくりを主体的に進められる人材になりたいと考えています。企業を支える力を高めることは、自分自身と仲間、そしてその家族や大切な人の安心を守ることにもつながります。そのためにも、私は安全を広げ、社会に安心を届けられる存在を目指しています。

進路実績

令和元年度から7年度までに卒業した危機管理学部の卒業生は、危機管理のみならず様々な分野の民間企業に就職しています。公務員系では、国、地方自治体、警察、消防など全国の多くの行政機関に採用されました。



およそ5人に1人が公務員になっています



民間企業

ソフトバンク／みずほフィナンシャルグループ／日本銀行／イトーヨーカドー／日本大学／野村證券／住友生命／ALSOK／セコム／ホンダ／三菱自動車／JR各社／東急グループ各社／その他

公務員

防衛省／陸・海・空自衛隊／法務省矯正局／東京出入国在留管理局／東京国税局／警視庁、その他各県警／海上保安庁／東京消防庁、その他各地方消防局／東京都庁／世田谷区役所、その他各種地方公務員就職実績多数

就職情報

卒業生の進路・就職状況

詳細はこちら▶



大学院情報

大学院危機管理学研究科
博士前期課程／博士後期課程

詳細はこちら▶



Message 卒業生からのメッセージ



MESSAGE

01

東京出入国在留管理局羽田空港支局
2022年度卒 倉重 主紀さん

日本の空の玄関口を守る

私は現在、出入国在留管理庁の地方支分部局である、東京出入国在留管理局羽田空港支局において、入国審査官として勤務しています。主な業務内容は、外国人の出入国審査業務及び日本人の出帰国確認業務ですが、偽変造の疑いのある旅券等を専用の機材を用いて鑑識する、鑑識係も併せて務めています。空港における入管の主な責務は、テロ関係者や不法就労を企図する者等、我が国にとって不利益となる外国人の入国を、法に則り確実に阻止することです。そのため、旅客一人ひとりの審査が緊張の連続で、まさにこの場所こそ「危機管理」の最前線であると感じています。そのような日々の中で、危機管理学部で学んだ法的な思考力、判断力や危機管理に関するさまざまな専門知識はとても有用なものであり、普段の業務に活かされていることを実感しています。

MESSAGE

02

横浜市役所
2020年度卒 尾澤 悠菜さん

市民生活の向上を目指し、横浜の未来を創る

横浜市役所に入庁し、4年間区役所で福祉に携わったのち、現在がごみ収集車の調達・整備を行う部署で庶務業務を担当しています。職員の職場環境整備や安全意識向上のための研修に注力しており、迅速かつ丁寧な対応で感謝されることに達成感を感じる毎日です。大学時代はパブリックセキュリティ領域を専攻する傍ら、三茶祭実行委員会に所属し、教職員の助言から「困難な時に周囲を頼る大切さ」を学びました。この経験は現在の仕事の指針にもなっており、自力で取り組んだ上で早めに周囲へ相談することを実践しています。今後は現在の経験を活かし、横浜市ならではのイベント・政策運営に携わることを目標としています。



MESSAGE

03

東京電力ホールディングス株式会社
2019年度卒 山下 絵来帆さん

学びを社会につなげる力を育んだ学生時代

東京電力ホールディングスで広報担当としてホームページや動画等のコンテンツ制作に携わり、相手の立場に立ち、情報を分かりやすく伝えることを意識して仕事をしています。大学では災害復興やまちづくりについて学び、ゼミ1期生として正解のない課題に挑み、自ら考え行動する力を養いました。バレーボール部では史上初の一部昇格を経験し、チームで目標を達成する大切さを実感しました。学生時代に培った多角的な視点や主体性は、社会インフラを支える現職でも大いに活かされています。今後も自身の取り組みを通じ、誰かの安心や支えにつながる存在を目指していきます。



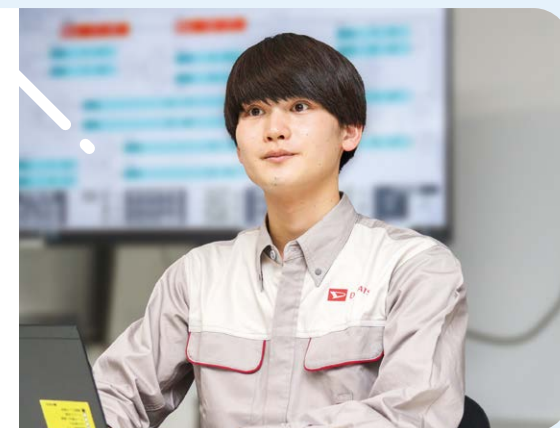
MESSAGE

04

ダイハツ工業株式会社
2019年度卒 大藤 晴樹さん

2千人の現場を動かす、生産管理の責任と誇り

ダイハツ工業の京都工場生産管理を担い、現場の司令塔として生産計画の立案や納期管理を行っています。膨大なデータを扱う業務の効率化を目指し、DXツールを習得してプロジェクトを推進するなど、常に「もっといい仕事」を追求しています。有事には「One Team」で課題解決に導く調整役を務め、人々の移動を支える社会貢献に手応えを感じています。大学時代は国際法、安全保障を専攻し、新設学部の1期生として自ら道を切りひらく姿勢で就職活動に挑みました。「ピンチをチャンスに変える」という信念を胸に、柔軟な発想で人々の幸せを広げていける人材を目指しています。





総合型選抜

総合型選抜 探究型

こんな人にオススメです

探究型の授業を受講して成果を出した方

募集人員	出願期間	試験日	選考方法
15名	令和8年 9月1日(火)~ 9月11日(金)	第一次選考 令和8年9月29日(火)	第一次選考 (書類審査) ①志望理由書(学部指定用紙) ②出身高等学校等調査書 ③探究型授業受講報告書(学部指定用紙)及び成果物
		第二次選考 令和8年10月24日(土) (※令和8年10月25日(日))	第二次選考 ①総合問題試験(読解と論述を含む) ②口頭試問及び面接 (探究型授業受講報告書及び成果物についてのプレゼンテーションを含む)

※志願者数によって10月25日(日)に実施する場合がある。

出願資格(いずれかに該当する者)

- ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者。
- ②高等学校又は中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び満たす見込みのある者で、入学時点で18歳に達しているもの。

出願要件(すべてに該当する者)

- ①本学部のアドミッション・ポリシー及び教育内容を理解し、本学部への入学を第一志望とし、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。
- ②高等学校又は中等教育学校等において実施される探究型授業を受講し、当該授業に関する探究型授業受講報告書及びその成果物を提出できる者。

総合型選抜 資格型

こんな人にオススメです

資格取得を中心に頑張った方

募集人員	出願期間	試験日	選考方法
10名	令和8年 9月1日(火)~ 9月11日(金)	第一次選考 令和8年9月29日(火)	第一次選考 (書類審査) ①志望理由書(学部指定用紙) ②出身高等学校等調査書 ③出願要件②を満たすことを証明する文書 (スコアシート、成績表または合格証書等)の原本
		第二次選考 令和8年10月24日(土) (※令和8年10月25日(日))	第二次選考 ①総合問題試験(読解と論述を含む) ②口頭試問及び面接(資格取得についてのプレゼンテーションを含む)

※志願者数によって10月25日(日)に実施する場合がある。

出願資格(いずれかに該当する者)

- ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者。
- ②高等学校又は中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び満たす見込みのある者で、入学時点で18歳に達しているもの。

出願要件(すべてに該当する者)

- ①本学部のアドミッション・ポリシー及び教育内容を理解し、本学部への入学を第一志望とし、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。

- ②本学部が指定する以下のいずれかの要件を満たす者。ただし、各試験については出願期間初日から遡って2年以内に実施されたことを条件とする。

- 実用英語技能検定準2級プラス以上に合格していること
- TOEIC® L&R Score 520点以上であること
- TOEIC® Bridge L&R Score 84点以上であること
- TEAP(4技能) 225点以上であること
- GTEC 930点以上であること
- 情報処理推進機構 ITパスポート試験に合格していること
- 情報処理推進機構 情報セキュリティマネジメント試験に合格していること
- 情報処理推進機構 基本情報技術者試験に合格していること
- 日本防災士機構 防災士資格取得試験に合格していること

総合型選抜 キャリア型

こんな人にオススメです

入学後のキャリア計画を設計できる方

募集人員	出願期間	試験日	選考方法
25名	令和8年 9月1日(火)~ 9月11日(金)	第一次選考 令和8年9月29日(火)	第一次選考 (書類審査) ①出身高等学校等調査書 ②キャリア計画書(学部指定用紙)
		第二次選考 令和8年10月24日(土) (※令和8年10月25日(日))	第二次選考 ①総合問題試験(読解と論述を含む) ②口頭試問及び面接(キャリア計画書についてのプレゼンテーションを含む)

※志願者数によって10月25日(日)に実施する場合がある。

出願資格(いずれかに該当する者)

- ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者。
- ②高等学校又は中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び満たす見込みのある者で、入学時点で18歳に達しているもの。

出願要件(すべてに該当する者)

- ①本学部のアドミッション・ポリシー及び教育内容を理解し、本学部への入学を第一志望とし、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。
- ②将来、危機管理に関連するキャリアを目指しており、キャリア実現に向けたキャリア計画書を提出できる者。

併願可	募集人員	出願期間	試験日	選考方法
	5名	令和8年 9月1日(火)~ 9月11日(金)	第一次選考 令和8年9月29日(火)	第一次選考 (書類審査) ①出身高等学校等調査書 ②キャリア計画書(学部指定用紙)
			第二次選考 令和8年10月24日(土) (※令和8年10月25日(日))	第二次選考 ①総合問題試験(読解と論述を含む) ②口頭試問及び面接(キャリア計画書についてのプレゼンテーションを含む)

※志願者数によって10月25日(日)に実施する場合がある。

出願資格(いずれかに該当する者)

- ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者。
- ②高等学校又は中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び満たす見込みのある者で、入学時点で18歳に達しているもの。

出願要件(すべてに該当する者)

- ①本学部のアドミッション・ポリシー及び教育内容を理解し、合格した場合、本学部に入学することを強く希望する者。
- ②将来、危機管理に関連するキャリアを目指しており、キャリア実現に向けたキャリア計画書を提出できる者。

一般選抜

方式		募集人員	試験日	受験教科科目数	教科・科目	配点
AN共通日程方式	80名	令和9年 2月3日(水) 4日(木) 5日(金)	3教科 3科目	国語	「現代の国語、言語文化(漢文を除く)」	100
				地理歴史 公民 数学	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、政治・経済」、「数学I、数学II、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学B(数列)、数学C(ベクトル)」のうちから1科目選択	100
				外国語	「英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、論理・表現I、論理・表現II、論理・表現III」	100
				※募集人員は、3日間の試験を合わせた人数とする。 ※合否判定は、2月3日・4日・5日の各試験の得点を中央値補正法による得点調整を行い、得点調整後の総合点で合否判定する。同一人物が複数日に受験した場合は、試験日ごとに合否判定する。 ※試験日が異なれば、本方式を実施する複数の学部・学科に出願できる。また、異なる試験日で同一学部・学科に出願することも可能(複数の学部が試験日ごとに共通の問題で実施し、試験日を自由に選択できる)。 ※複数日程に同時出願する場合、入学検定料割引制度が適用される。 ※学力検査は全問マークシート方式。 ※選択科目は指定の全科目を出題し、試験当日、選択させる。なお、試験日ごとに受験できる科目が異なる。 地理(地理総合、地理探究)は、2月3日のみ実施。数学は2月3日・4日に実施(2月5日は実施なし)。その他の科目は全日程で実施する。 ※外部の英語資格・検定試験スコアを外国語の得点として利用することができる。スコアを提出した場合は受験するAN共通日程方式の外国語の試験を受験する必要は無いが、受験した場合は、高得点の方を合否判定に使用する。 ※最新の情報は必ず日本大学HP掲載予定の「一般選抜募集要項2027」でご確認ください。		
N全学統一方式	第1期	15名	令和9年 2月1日(月)	外国語	「英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、論理・表現I、論理・表現II、論理・表現III」	100
				国語 地理歴史 公民 数学①	「現代の国語、言語文化(漢文を除く)」 「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」 「公共、政治・経済」 「数学I、数学II、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学B(数列)、数学C(ベクトル)」	100
	第2期	7名	令和9年 3月4日(木)	※上記の選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。 【第1期】※上記の得点を標準化得点に換算し、合否判定する。 【第2期】※上記の得点を標準化得点に換算し、外国語の得点を1.5倍にして、他の科目と合わせて合否判定する。 ※外部の英語資格・検定試験スコアを外国語の得点として利用することができる。スコアを提出した場合は受験する第1期、第2期の外国語の試験を受験する必要は無いが、受験した場合は、高得点の方を合否判定に使用する。		

入試状況一覧 令和8年度

総合型選抜

学科	種別	募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率(A/B)
危機管理学科	探究型	15	17	17	13	1.3倍
	資格型	5	36	36	22	1.6倍
	キャリア型	25	70	70	28	2.5倍
	キャリア型(併願可)	5	29	29	10	2.9倍

小数点第2位以下切り捨て

一般選抜

方式	募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率(A/B)
A 個別方式	85	641	614	213	2.8倍
N 全学統一方式(第1期)	15	739	687	231	2.9倍
N 全学統一方式(第2期)	10	454	338	10	33.8倍
計	110	1,834	1,639	454	

小数点第2位以下切り捨て

納入金^{※1}

種別	項目	初年度納入金		
		入学手続時	後学期(9月)	計
学費	入学金(初年度のみ)	260,000円	—	260,000円
	授業料	430,000円	430,000円	860,000円
	施設設備資金	100,000円	100,000円	200,000円
その他	日本大学三軒茶屋キャンパス後援会費	15,000円	15,000円	30,000円
	日本大学校友会準会員(在生)年会費 ^{※2}	10,000円	—	10,000円
計		815,000円	545,000円	1,360,000円

※1 納入金は変更になる場合があります。

※2 卒業年度後学期に正会員会費初年度分を10,000円納入。